

◆第19回 詩の分析的読解（2）／語句19（前期総合1）

前回に続き詩を学習します。今回は特に詩の中に使われている比喻表現に着目しましょう。ここから主題をおさえてみましょう。

語句は前期総合1で、前期に学習した内容の復習です。音読み・訓読み、送り仮名、反対後、部首、三字・四字熟語、慣用句になります。

◆第20回 詩の分析的読解（3）／語句20（前期総合2）

前回に続き詩を学習します。今回は灘中の入試問題をそのまま取り上げています。難問ではありますが、いままで学習したことを思い出して取り組みましょう。

語句は前回に続き前期総合2で、前期に学習した内容の復習です。外来語、和語、ことわざ、同音異義語、同訓異字になります。

7月は「等差数列」「方陣算」について学習します。どの単元においても、覚えなければいけない事柄や公式はいくつかありますが、最も大切なのは基本となる考え方をきっちりと理解することです。単に「公式を覚えておけばよい」というのではなく、「なぜこの公式が導き出せるのか」というところまで理解を深めてもらいたいと思います。その上で、公式を身につけることが望ましいです。

動画視聴時のお願い

まずは自分の力で問題を解いてから動画を見ることをおすすめします。ただし、その単元の内容に関する予備知識が全くない場合は、動画から先に確認していただいて結構です。その場合、動画視聴後にもう一度解き直すとより定着が良くなります。また、先に問題を解いて間違えた場合も、動画を確認した後で解き直しをしてください。お子様が「解く→直す」の学習姿勢を4年生のうちに身につけることも大切です。

◆第19回 規則性Ⅲ

今回は「等差数列」を学習します。数列の中では最も基本的なものの一つです。単純な規則の数列ではありますが、今後の算数の学習において非常によく出てくる内容ですので、今のうちに公式も含めてきっちりと定着させてください。

○必ず押さえてほしい問題・・・**2**、**3**、**4**、**5**

○宿題・・・第19回補充問題

◆第20回 規則性Ⅳ

前期最後は「方陣算」を学習します。規則正しく並べた碁石の数を数えるのですが、まずは「中実方陣」「中空方陣」の名称とその並べ方を覚えましょう。また、「中空方陣」では少しくふうをして碁石を数えますので、そのくふうの方法をしっかりと理解してください。

○必ず押さえてほしい問題・・・**1**、**2**、**5**

○宿題・・・第20回補充問題

◆第10回 文章題(3)

①【例題】と【練習】

【例題】はすべて動画が用意されています。

【例題 1】 差集め算①

「同じ数ずつ買う」とき、「代金の差は 1 冊あたりの差の集まりである」ことをおさえましょう。「差の集まり」を考える問題なので「差集め算」といいます。

【例題 2】 差集め算②

予定と実際の買い方を比較できるように図をかき、「ちがい」の部分を見つけます。

「～より～多い」「～より～少ない」などの表現に惑わされないように注意が必要です。
答えが出たら、問題の内容と一致しているか、必ず確かめましょう。

【例題 3】 買う数を逆にする

予定と実際の買い方を図で表して、ちがいがどこで発生したかをおさえます。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

②【練成問題】

【練成問題】はほとんどの問題が動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

1 は、「くいの本数の差」＝「間の個数の差」になります。

4 は、60cm ずつ切ったときにできる本数とおなじだけ 50cm ずつ切ったとき、なわのあまりが何 cm になるのかを考えましょう。

5 や 6 は、面積図などを使うのも有効な考え方です。

9 は、勝っても負けても箱からボールをとることになるので、1 回のじゃんけんでボールは 4 個ずつ減っていくことに気づくでしょうか。そうするとじゃんけんの回数がわかります。

10 は、代金の和に注目すると、たちどころに答えが見えてきます。

③ 宿題などについて

【練成問題】の後【A 問題】、【B 問題】がありますが、ここは宿題となります。【B 問題】はレベルの高い問題もありますが、がんばって取り組んでみてください。B 問題の 4, 5, 6 などは入試問題レベルです。特に 4 は、「30 円の品物がちょうど買えたわけではない」ことに注意しましょう。